

オットーボック装具 取扱引書

モジュラー支柱 ステンレス・アルミ・チタン

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱引書をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。また取扱説明書は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【適応・用途】

『モジュラー支柱』および『モジュラー支柱 ラミネーション用』は、筋肉組織の運動機能障害などに対して支持・固定するための装具の製作に使用します。これらの支柱は、オットーボックのモジュラージョイントシステムを用いた装具の製作のみに使用してください。用途に合わせ、下記の種類があります。

品名	発注品番	素材	左右	支柱幅	厚み	長さ	入数	
モジュラー支柱 フラットタイプ ストレート	17B4=16	ステンレス	兼用	16	4	410	1	
	17B4=20	ステンレス	兼用	20	4	410		
	17B4=16-T	チタン	兼用	16	4	410		
	17B4=20-T	チタン	兼用	20	4	410		
	17F52=12X3X220	アルミ	兼用	12	3	220		
	17F52=14X3X220	アルミ	兼用	14	3	220		
	17B6=16	アルミ	兼用	16	5	410		
	17B6=20	アルミ	兼用	20	5	410		
モジュラー支柱 ラットタイプ カーブ付	17B5=R16	ステンレス	右	16	4	450	1	
	17B5=L16	ステンレス	左	16	4	450		
	17B5=R20	ステンレス	右	20	4	450		
	17B5=L20	ステンレス	左	20	4	450		
	17B5=R16-T	チタン	右	16	4	450		
	17B5=L16-T	チタン	左	16	4	450		
	17B5=R20-T	チタン	右	20	4	450		
	17B5=L20-T	チタン	左	20	4	450		
	17B7=R16	アルミ	右	16	5	450		
	17B7=L16	アルミ	左	16	5	450		
	17B7=R20	アルミ	右	20	5	450		
	17B7=L20	アルミ	左	20	5	450		
モジュラー支柱 フラットタイプ 4本セット	17B38=16	ステンレス	兼用	16	4	ストレート 410/ カーブ付 450	4本セット	
	17B38=20	ステンレス	兼用	20	4	ストレート 410/ カーブ付 450		
	17B38=16-T	チタン	兼用	16	4	ストレート 410/ カーブ付 450		
	17B38=20-T	チタン	兼用	20	4	ストレート 410/ カーブ付 450		
	17B39=16	アルミ	兼用	16	5	ストレート 410/ カーブ付 450		
	17B39=20	アルミ	兼用	20	5	ストレート 410/ カーブ付 450		
モジュラー支柱 ラミネーション用 ストレート	17Y128=16x80	ステンレス	兼用	16	4	80	1	
	17Y128=16x100	ステンレス	兼用	16	4	100	1	
	17Y128=20x80	ステンレス	兼用	20	4	80	1	
	17Y128=20x100	ステンレス	兼用	20	4	100	1	
モジュラー支柱 ラミネーション用 カーブ付	17Y129=R16	ステンレス	右	16	4	100	1	
	17Y129=L16	ステンレス	左	16	4	100	1	
	17Y129=R20	ステンレス	右	20	4	100	1	
	17Y129=L20	ステンレス	左	20	4	100	1	

【特徴】

* 上の製品写真は実際の製品のサイズ比率とは異なります。

- 『モジュラー支柱 ラミネーション用』は、ラミネーションによる繊維強化プラスチックを使用した下肢装具の製作の際に使用します。
- 継手との連結部分をネジ止めすることで、ラミネーション後の積層素材を破壊することなく、継手の修理・交換を行うことができます。
- 支柱の先端はテーパ加工がされており、リベットなどで「PVC 製側面補強材 17Y106」と連結するための穴（4.2mm）が空いています。（写真）
- 必要に応じて曲げ加工をします。その際、曲げ加工により支柱が短くなってしまった場合には、長さ 100mm の支柱（17Y128=16X100、17Y128=20X100）をご使用ください。また、下腿部のカーブに合わせてオフセット形状のカーブ付支柱（17Y129=16X100、17Y129=20X100）も選択可能です。



⚠ 注意

- 適応については、必ず医師の診断を受けてください。

【組立方法】

- ① モジュラー支柱を継手に差込み、固定させます。その際、奥まで差込めない場合は支柱の先端を削るなどして調整します。(写真1)
- ② ステンレス支柱とチタン支柱の先端(継手差込部分)には、厚み調整のために1mm厚のシムプレートが予め付属しています。必要に応じて、支柱の先端およびシムプレート周囲を削って調整し継手に差込んでください。(写真2)
- ③ 継手と支柱を連結部分で固定させるためには、必ず金属類に適した接着剤を使用してください。エポキシ樹脂系2液混合型接着剤の使用をお勧め致します。
- ④ 接着剤を使用する前にシンナーや溶剤を用い、連結部分の金属表面の脱脂処理を行なってください。
- ⑤ 各支柱を連結部分に差込み、『フィリップス ヘッドネジ 501T7=7.5x9xM5』でねじ止めます。



写真1

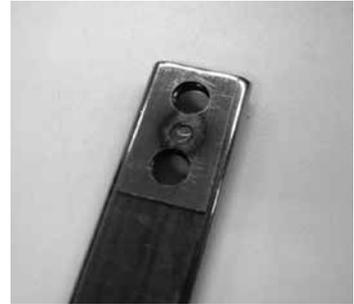


写真2

【取扱方法】

オットーボックのモジュラー継手とモジュラー支柱は、耐腐食性、並びに耐酸性の鋼材で作られています。腐食しないようさらに保護するために、バフ研磨と艶出しで最終仕上げをし、表面コーティングを行なうことをお勧めします。

⚠ 注意

- ステンレス支柱に関しては、素材が劣化するため、300°以上の熱を加えないでください。また固定させた連結部分は熱加工しないでください。
- アルミ支柱に関しては、製作の際に過度の熱を加えないでください。
- アルミ支柱の曲げ加工の際は、突起のないベンダーを用いてください。また、半径10mmを超え過度に曲げたりしないでください。
- アルミ支柱の破損を防ぐために、製作過程においてできた溝などは研磨と艶出しで取除いてください。
- アルミ支柱には、230°以上の熱を5分以上加えないでください。

【メーカー責任】

オットーボックはメーカーとして、本取扱説明書で指定された取扱方法に従って製品を使用し、ならびに適切なお手入れ方法に従って定期的にメンテナンスした場合にのみ、その責任を負います。オットーボックはまた、本説明書の指示に従って製品の定期的なお手入れと確認を行なっていただくことをお勧めいたします。

【CE 整合性】

本製品は欧州医療機器に関するガイドライン 93/42/EEC の要件を満たし、ガイドラインの付表IXの分類基準により、医療機器クラスIに分類されています。オットーボックはガイドラインの付表VIIに則り、本製品がCE規格に適合していることを保証いたします。

(注) 但し、日本においては本製品は医療機器の分野には分類されていません。

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

お問い合わせ先

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.com/ja-jp/

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-9-9 野村不動産芝大門ビル 4F TEL. 03-6739-4090(代表) FAX. 03-6739-4097